

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成29年度第1回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成29年8月24日（木）15時～16時30分
開催場所	中津川市鉱物博物館 研修室
出席者の役職名	委員 10 名 教育長・文化スポーツ部長・次長・鉱物博物館長・苗木遠山史料館長・子ども科学館長・中山道歴史資料館長・東山魁夷心の旅路館長・鉱物博物館館長補佐・鉱物博物館館長補佐兼学芸員・文化振興課学芸員 2 名
話し合われた内容 (会議録又は 審議概要)	<p>1 協議会委員任命・委嘱 新しく役職交代等で変わられた委員の任命書及び委嘱書の交付</p> <p>2 教育長あいさつ ・会議の成立について 【司会】 中津川市教育委員会附属機関設置等に関する条例施行規則第4条により会議は委員の過半数の出席により成立することから、過半数以上の委員の出席によりこの会議は成立していることを報告いたします。 ・協議会の公開について 【会長】 本協議会は公開を前提としています。今後は公開ということでしょうか。 【委員】 異議なし 【会長】 それでは公開ということでしょうか、よろしくお願いいたします。</p> <p>3 報告・協議事項等 (1) 平成28年度各館事業・決算報告 各館長より説明 (2) 平成29年度文化スポーツ部の方針と重点及び各館の事業計画 次長及び各館長より説明 【質疑】 会長 ありがとうございました。ただいま説明がありましたが、お手元の資料を見ていただきながら、その上で各館の館長さんの説明をうかがった上で、ご意見やご質問をいただければありがたいということで、いかがでしょうか。 自分は手元に恵峰ホームニュースを持ってきました。先日出たばかりのものですが、こうゆう立場になりますと皆さんもそうでしょうけど、博物館協議会委員になったことで、新聞を観るにもちょっと意識して、立場が人の意識を換えるということもあるわけですが、これを見ますと、右肩の上のところでは、</p>

苗木城跡の散策ツアーが人気なんて書いてあったり、これはボランティアの方々がやってくださってると思うんですが、下のほうでは、東山魁夷心の旅路館の館長さんの説明にもありましたが、美術館の鑑賞会のニュースが乗ってるんですね。去年を振り返ってみますと皆さんからいただいた意見を大事にしながら、各館の館長さんを先頭に、努力してくださった結果が先ほど来の説明だと思うんですが、つまり皆さんから意見いただいたことが、各館では励ましとなって、さらにまたいい館になるようにというふうに努力をしてくださっているということが、よくわかると思ったのでこれをもってきたわけです。ぜひ、先ほどらの説明、資料を見ていただきながらご意見いただければありがたい。

委員

苗木遠山史料館についてお伺いしたいと思いますけれど、事業内容のところで、平成27年度が36千人の利用者数が13千人ほど減っている。昨年は何か催しものがあったりだとか、そういうものがあったのでしょうか。

事務局

これは、1つは山城ブームというものがございまして、いわゆる旅行会社も天空の城とか、日本のマチュピチュとか言うような、われわれはそういうふうに呼んだことはないのですが、そう銘打って相当のバスをよこしてくださった。ところが、先ほどもお話したみたいに、同じところばかりですと旅行業者も飽きられてしまうので、いろんなところへ行くと、どこ行くかわからないけど、ここへ連れてこられたから入るという人がいましたけれど、この減ったのは特に歴史に興味があるという人ではないというふうに私どもは思っております。なので、先ほども申しましたけれど、本当に遠山史料館のあるいは苗木城のことについて知りたい、という方は確実に増えていると思っています。

会長

ありがとうございました。

委員

付随してなんですけれど、苗木城だけいかれる方は結構いると思うんですけれど、数なんてのはあまりはかれないですね。

事務局

現在、去年から天守閣のところにセンサーをつけまして、カウントをしておるように観光課のほうでやっていただいております。また、結果が出たら公表させていただきたいと思っています。

委員

なるべく寄っていただけるようになるといいですね。

事務局

そうですね。

会長

ありがとうございました。

委員

出前授業で出かけてくださるのは利用者には入っていないのですか。

事務局

いえ、入っております。

委員

昨年度第二中学校に大林先生を及びいたしまして、地学の講座を開設させていただきました。多くの活動をさせていただきました。

会長

それでは、後ほど平成 29 年度の方針等の説明、さらにその後に審議していただく時間を取りたいと思いますので、質問という形を中心にした、説明に対する質疑はここで区切りを付けさせていただいてよろしいですか。ありがとうございました。

それでは続きまして、平成 29 年度分スポーツ部の方針と重点及び各館の事業計画を事務局よりご説明をお願いします。

事務局

資料説明

会長

ありがとうございました。ただいま平成 29 年度の文化スポーツ部の方針と重点、各館から各館の事業計画についてお話をいただいたところですが、昨年度の報告に遡っても結構ですので、合わせながらご意見とか要望とか、皆さんからの積極的な提案をいただければ、いかがですか。

委員

よろしいですか。学校としていろんな面で活用していかなければと思っています。学校として博物館を活用していく大きいことはやはり、地域を学ぶこと、それと学校というのは教科、社会だったり理科だったり美術だったりという教科を学ぶ中で、教科に即したものを博物館とかで、実際のものを見ながら、やっていけるということを思いながら活用させてもらうことが多いと思う。今の説明の中でも本当に、地域のことを深めてでまえ講座をやっていただけることとか、それを元に関いていただけることとか非常にありがたいなと思っています。

今後とも学校の授業とタイアップを大切にやっていただけることが、子どもたちはこういうところを活用しながら、教員も学ばしていただきながら、いろんなことが深く繋がって行くと思うので、ぜひ続けて行っていただきたいと思います。学校も教育課程等も見直し合されていきますので、私どものほうにも注目をしていただきながら、考えていただけるとありがたいなと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

会長

ありがとうございました。

委員

私は生まれが旧福岡町の高山なんですけれど、高山には常盤座という芝居小屋もあるし、常盤神社と常盤神社の中には秀吉が晩年朝鮮出兵のときに、軍船を作るための巨木を切りだしたといわれている、切り株が残っていて、それが大分朽ちて、小さくなっている状態で、昨年度末から保存会を作りまして、市のほうから補助をいただきまして、お金をいただいて、安全な散策道路と周囲を囲う柵なんかができ、喜んでいきます。さらに援助をお願いしたい。活動をやってみえる、保存会の中に遠山史料館で活動してみえる方に、古文書とかいろいろ調べてもらったりして、バックアップしてもらった。そういうことが私たちは非常に力になる。今後ともお願いしたい。

石碑の中で何が書いてあるかわからんということで、そういうのを調べたときにやっぱり、史料館の古文書をやってる方が、風化した石に泥を塗りこみ字が浮いてくる。初めてそういうことを知った。拓本ではできないけれど、泥を塗りこむと字が出てくる。江戸時代の農家の奥さん方が、安産祈願に寄贈された、名前がざーとある。こういうのを僕たち年寄りが生きていうちにきちっと残していかないと、今後調べる人が誰もいないだろうと、そうしてみると博物館、史料館の知恵が必要となってくる。なかなか地元でも興味を持っている人はいないので、今のうちに調べてもらったりしたい。お願いやらお礼やらです。

会長

ありがとうございました。つぶやきでも結構ですのでお願いします。

委員

よろしいですか。全体に見るとちょっと、来館をしてくださる市民の皆様がちょっと少なくなったような気がしますけれど、皆様のご努力は大変なものかと思いますが、やはりもうちょっとそれを増やそうかなとか、そういう意味では今なさっておられる出前講座ですね、これをもう少し増やしても逆がいいんじゃないかなとおもうんです。もう、来てくれるのを待つより、こっちから打って出ると、とりあえずそれで小さい子とかに、中津川市にこういったものがあるんだよと、いうことをもうちょっと知らせた方がいいような気がしますね。

大人は不精ですから、今日は雨が降ったからいやだとか、暑いからいやだとか、大人はまったくわがままですから、そういった面では小さい子のほうが、やっぱり打って出てこういったものがあるよと、学芸員の方も見えますので、そういった方をどんどんご利用なさってもらえば、良くなるような気がします。

一つ質問ですけど2館でクリスタルコンサートとかミニコンサートをやっておみえる、どんなものをやっておられるのか。

事務局

鉾物博物館では、いわゆるクラシック系、新日本フィルの吉鶴さんとか、中

津高校のOBのクラリネットとかそういうところをロビーでやっております。こういうところですので、静かできれいな、親しみやすいというところを今のところは考えてやって下ります。

委員

私、文化協会のほうで文化会館の指定管理をもらってますけれど、去年からロビーコンサートを始めまして、もうこれで23回ですかね。いろんなジャンルの方やられますので、そういった方をまた呼んでいただければ。私もやっておりますので。

事務局

よろしくをお願いします。

委員

結構レベルは高い。先月なんかは、東フィルでバイオリンを弾いておられて、退職されて、もともと中津川出身の方で、こちらへ来てバイオリンのロビーコンサートをやっていた。ちょうどそのときには、第二中学校の吹奏部の生徒さんが、会館を借りて練習されてましたので、その時間だけ空けてもらって、一緒に聞いてもらいました。もうすごく喜んでくださいました。プロの音というのはぜんぜん違いますので、ぜひそういったこともよろしくをお願いします。

会長

非常に前向きないい意見ありがとうございました。

委員

第二中学校です。来年度新学習指導要領が入りますが、理科の学習指導要領を見ましても、博物館の利用というのがあり、今年の10月に試行期がありまして、昨年度の鉾物博物館の利用について話をさせていただきたいと思えます。中学校に出前講座等来ていただいたり、もしくは博物館等のものを活用するということが、たくさんなされれば利用という形にもなります。活用させていただきたいと思えます。先ほど話がありましたが、吹奏楽部協も出前講座に行っております。注文されれば出前講座行きますので、喜んで行きたいと思えますのでよろしくをお願いします。窓口は私でお願いします。

中山道歴史資料館の外国人の話をしようかと思えます。学習時間のときに中津川の文化を外国人の方にインタビューしてみたらどうなのということがあったんです。そのときに中山道資料館のほうに出かけて行くことが可能かなと思うのですが。

事務局

ぜひお願いします。実際に子どもたちを、きた外国人と話すということで、お待ちしております。

委員

子どもたちが中津川で生まれて、県外で大学で自分の住んでいるところが、自慢できることが、栗きんとんぐらいしか自慢できるものがない。歴史のこと

に関して、いえる子がいるのかなと思うと、寂しいところがあります。できれば、自分の田舎を自慢できる子どもに育ててもらいたいと思います。小学校、中学校、高校という間にたくさん歴史に関わって、勉強してもらいたいというのがあります。そういう環境を作ってってもらいたいと思います。

会長

私たちのような大人の側から見たときに、子どもが中津川から出て行って、よさをこんなふうに話せる。今の意見は非常にありがたいご意見だと思います。

委員

私、高山小学校の評議委員をやっています。福岡地区の近い将来の統合の問題が話題になっているんですが、このまま子どもたちが統合したときに、自分の地域はどのような地域だということを、学ばずにいってしまうと、高山出身だけど高山のよさをわからずに大きいところへ行ってしまふ。さっきの中津川市ということもありますが、ほんとに小さいところでも同じようなことがあって、校長先生は、出前講座とからみだとおもうけど、何とか地域を学ばせるために、地域学習を今年から入れていきたいといってみえて、何にしようかと迷って見えたんですが、やっぱり歴史が一つあるだろうということで、高山小学校9月に予定されている出前講座というこれは何ですか。

事務局

そのときは、4年生が社会教育、岐阜三川公園の堤防が、中津川市内にはない、4校で行くのでそれでその子どもたちに堤防のことについて話をしてほしい。そのまえに校長会で話をさせてもらったときに、高山の校長先生からは、高山ではいろいろなところがあるけれど、なかなかわからないところがあるので、もし良かったらそういうこともやってほしいといっていました。今度行ったときにその話をさせていただきます。おっしゃるように高山も先ほど山口の話をしました。ちょっと2日ぐらい調べるとものすごくいろいろなことがわかるので、高山だったら、道があったり、千早橋があったりいろんな物語がありますので、そこへ行ってお話しをさせていただければ、取材をさせていただければきっといろいろなことがわかって、よろしくをお願いします。

委員

先ほど来からお話を聞かせていただいておりますが、子どもたちが中津川の文化とか、地域で成長して、ゆくゆくは中津川市から出て行くことになったとしても、やはり郷土愛とかをはぐくむ機会が必要なのかなと感じました。取り組みとして、出前講座だとかあると思いますが、各学校さんとの連携の中で、例えば社会見学という形で、各博物館ですとか施設、苗木城で行きますと現地を見ていただいたりとか、知っていただくきっかけが必要だと思います。そういうことがきっかけとなって、2度目3度目と訪れていただけるようになると思います。

出前講座で行くという形なんですけれど、逆に来て頂くような機会というの

は、今現在あるのかなと、そういったものはありますか。

事務局

鉱物博物館のほうですが、自然系の博物館ということで、高峰湖周辺で一体型名博物館ということになってます。体験が毎日できるという、ストーンハンティングという体験をやっておりまして、それは入館してもらえば誰でもできるということで、中津川の話ではないんですが、苗木の野外教育センターから小学生がほとんどではないですけど、コースに入った人は、皆さんやっていかれる。そういう子どもさんは一回でもやったことがあるということで、リピーターとしてこられる。おしゃられたようにアピールをしていかなければ、いろんなところでコマーシャルを流して行くというところで、各館とも、博物館ですので、そこに展示してあるということが、もって出かけて行くということは、いろんな資料の問題もありますし、時間的な問題もありまして、来ていただくというのが博物館としての存在意義だと思います。出前授業もやって行くことも必要だと思いますが、合わせて中の充実といいますか、そういうものもしていかなきゃいけないと考えています。

中山道歴史資料館で6年生の単元で歴史というものがあります。東とか南だと歴史の中で中山道を扱います。そのときに中山道を案内しながら、中山道に関する資料もありなすので、来てもらって、出て行っては来てもらう。その繰り返しになります。3年生からいろいろ昔の物を探る。まちの勉強とか市の勉強とかそういうのもありますので、そういうことできていただく。ということがあります。内の隣の、脇本陣という昔のお殿様が泊まった部屋を復元してある。そこは一段高くなっていて、そこに来てもらって授業をすると、江戸時代というのは身分によって、一段高いところでこうしてるんだなというのが体験できるという施設を利用しながら、やっている。いずれにしても出ることだけじゃなく来て頂いて、中津川のことを知っていただく。

委員

ありがとうございました。そういった連携の仕組みづくりみたいなものが、できていけば、子どもたちの触れ合う機会が必然的にできると思うので、それをきっかけに興味を持っていただける。よろしくお願いします。

事務局

子どもたちが来てくれると、かならず親とかおじいちゃんおばあちゃんを連れてくる。

委員

状況が分かっている質問は悪いんですが、鉱物博物館の調査研究その他の活動を見ると、室内で資料整理をするイメージが強いんですが、地元の研究するテーマとか、みんなで取り組んで調査するようなこととか、こっちがときどきするようなことは何かないだろうか。

事務局

そうですね。今すぐに具体例というのは出てはこないんですけど、例えば、

中津川市というか、苗木地方というところは鉱物の産地ですね。例えば鉱物の新種とか、鉱物じゃなくて化石なんかでも、かなりアマチュアの方が見つけたものが新種だったということが、博物館や博物館を巻き込んで、研究機関との連携で分かってくるということというのが非常にたくさんあります。そういう意味では、そういう活動をしていくことは非常に意義があることですし、大事なことだと思ってます。新しいものを見つけるということだけではなくて、その地域についての調査をやっていくというのを考えてはいるんですけど、実際今なかなかそういうところまでいけてないというのが実情です。

委員

今年招待状いただきまして、鉱物博物館、遠山史料館に行かさせていただいたんですけど、今市P連のほうで副会長をやっております。子どもも、小学校6年生の子どもをつれて回らせていただいた。展示物を見るだけでは子どももなかなか興味を引かないといいますが、やっぱり、触れるとか、体験できるところが子どもには人気がありまして、ここですとこんにゃく石、あれなんかおもしろいなど、触って石が曲がるという体験をさせてもらったり、遠山のほうでは、火縄銃は触れましたので、触れるものというのには割りと子どもは興味を持つ。子ども科学館はそれぞれ体験できますから、いろいろ関わることができる。それ以外の博物館でやっぱり、もっと触れる、鉱物とかでももっと触れる展示があると、もう少し子どもの興味を引けるのかなと思いました。参考にさせていただいて。

委員

前回だったと思いますけれど、日にちをトータルで一目瞭然としていただけると助かる、博物館のをまとめていただけるとありがたいと、いうふうにこの会議で出たことが、

早速やっていただけて、学校のほうから配布されて、全館の通しのスケジュールを配っていただいたので、ありがたかったなとおもっています。声を上げたことに対して、今までも、私結構長くなってきてんですけど、ずーと答えていただいているということは、本当に皆様の受け止める真摯な態度に頭が下がる思いです。

加子母は小さい地域で、昔から歴史文化をわりと地元地元というふうで、教育活動がなされてまして、私発信力がなくてあれだったんですけど、今ちょうど子どもが通う学校の校長先生が、ここに参加していただいたので、ぜひ博物館なんかを活用して、事業も活用していただけるんじゃないかとおもい、ちょっとほっとしています。

校長会とかいろんな大きい集まりもあると思いますので、そういうところで熱く語っていただけると、ダイレクトに子どもたちの教育活動の中に還元できるのではないかなと思います。個人的に子どもをつれてやってきますと、本当にそれぞれ興味を持つ、子どもの興味の分野もありますので、全員が石が好きというわけでもないし、美術がすきというわけでもないですけど、鉱物なんか

	<p>ははまる子どもははまると聞きますし、たくさんの子どもが学校行事なんかで回ることで、はまる子ははまっていくんじゃないかと思います。ぜひ学校行事にも取り入れていただけるとありがたいなと思います。</p> <p>会長 校長先生、ひとこと</p> <p>委員 それぞれの学年に応じて、歴史だとか、科学だとか、なかなか遠いので全博物館を回るのは難しいところはあるんですが、機会を捉えながら活用させていただいておりますので、来ていただいてというところはなかなか、加子母というところは、加子母の歴史を学ばせていただいて、加子母にもいろんなことを語っていただける方がたくさん見えて、内の学校のほうは何とかやっていける段階にあります。また深くいろんなことを考えたときに、またお願いすることもあるかなと思いながら、校長会でもよく来ていただいてお話を聞いていますので、活用していきたい。うちだけのことじゃなくて、中津川市のいろいろな学校で、機会をえながら、活用させていきたいなと思ってますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>会長 今いい意見をいただいているんですが、司会をやっていると、時間が苦になってくるということで、ご意見いただきました。加子母というお話をされた、ここから加子母だとずいぶん時間がかかるんですね。30分には終わりたいと思っておりますが、あといかがでしょうか。こういう意見言っとけばよかったと思われるのもあるかもしれませんが、今もう少し時間がありますので。</p> <p>それでは、まだ、第一回とここに書いてありますように、第2回がありますので、第2回のところにおいてはまた、ご意見を積極的にいただきたいという言い方をしながら、今日の第一課の会議はここで、閉じさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>非常に積極的な、前向きなご意見をたくさんいただきましてありがとうございます。それでは今日の第一回の会議をこれにて閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度各館事業・決算報告 ・平成29年度分かスポーツ部の方針と重点及び各館の事業計画
管部課	中津川市鉱物博物館